

# Q & A

問題解決!



南部営農センター  
園芸課  
検校 哲也

**Q1** 値段の高い苗を買うより種から育てたほうが経済的だと思っんですが、なぜ苗を植えるのですか？

**A1** 野菜を育てるには、種をまいて育てる方法と、苗を植えて育てる方法があります。ニンジンや大根、ほうれん草などは種から育てます。ナスやトマト、キュウリなどは一般的に苗を購入して植えます。豆類、キャベツや白菜などは、種と苗の両方が売られています。

種なのか苗なのか、いずれも、売られているのには理由があります。種をまいたほうがよくできる野菜もありますし、苗を植えるほうがよく育つ野菜もあります。また、種をまく場所が空いていないこともあります。自分の畑の広さや保温ができるかなど、考えて購入しましょう。

は、苗が売られていることもありすが、株数が多くなるため、種をまいて育てた方が経済的です。また、ニンジンや大根など直根の野菜は植え替えができないため、種から育てます。キャベツや白菜などは種と苗が売られています。株数が多くなる場合は、種を購入して苗を作った方が経済的でしょう。

苗を作った畑が空くのを待つこともあります。ナスやトマトなどは、まだ寒い時期に種をまくことから、種から育てるには保温して育てる必要があるため、苗を購入して植えるのが一般的です。

病害虫に強い接ぎ木苗は、作るのが難しいため、市販されている苗を購入します。ニンジンや大根などの根菜類、小松菜、ほうれん草といった葉物野菜は、苗をつくって植え付けますと根を傷めてしまい、移植すると健全に生長しないため、基本は、種まきをして間引きして栽培します。苗の植え付けに向いている野菜は、トマト、ナス、ピーマンなどのナス科や、キュウリ、カボ

## 種まきに向いている野菜

- |  |   |
|--|---|
| <b>【根菜類】</b><br>ダイコン、ニンジン<br>カブ・ゴボウ など | <b>【葉物野菜】</b><br>ホウレンソウ・コマツナ<br>ルッコラ・シュンギク など |
|--|---|

## 種まき・苗植えどちらでもOK

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| <b>【マメ科野菜】</b><br>エダマメ・インゲン<br>エンドウ・ソラマメ<br>ササゲ など | <b>【ウリ科】</b><br>トウモロコシ<br>オクラ など |
|--|----------------------------------|

- |  |  |
|--|--|
| <b>【ナス科】</b><br>トマト・ナス・ピーマン<br>トウガラシ・シシトウ<br>パプリカ など | <b>【ウリ科】</b><br>キュウリ・カボチャ・ウリ<br>スイカ・メロン・ゴーヤ など |
|--|--|

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| <b>【アブラナ科】</b><br>キャベツ・ブロッコリー<br>ハクサイ など | <b>【その他】</b><br>長ネギ・タマネギ<br>レタス など |
|--|------------------------------------|

## 苗植付に向いている野菜

エダマメやトウモロコシなどは、種まきでも苗の植え付けのどちらにも向く野菜です。エダマメをまこうと思っただけ畑が空いていないといったことがありませんか。そういった時、ポリポットで育苗しておくことができます。まくところが空いていれば、直接、畑に種をまくこともできます。苗にするか、種をまくか、ご自身の作付け計画に沿って栽培することができます。



チャ、スイカなどのウリ科の野菜です。  
ところで、エダマメは、直まきする人もいれば、ポリポットにまいて植え替える両方がありますね。これはどちらが正しいかと言いますと、どちらも正解です。

**Q2** 鶏ふん堆肥と牛ふん堆肥の違いや、使用方法の注意点を教えてください。

**A2** 鶏ふん堆肥は肥料として使えて、牛ふん堆肥は土壌改良材として使います。鶏ふん堆肥には、窒素成分が3%、りん酸5%、カリ2.4%が含まれています。

一方、牛ふん堆肥は市販の商品では、窒素1.9%、りん酸1.2%、カリ3.5%がだいたいの成分量です。

牛ふん堆肥には水分を飛ばすために発酵段階でおがくずなどが加えられています。これが、土壌の物理性を良くします。  
秋作が終わった後の土づくりに牛ふん堆肥を、鶏ふん堆肥は野菜の追肥に使うと良いでしょう。

**オンライン農業塾はこちら**  
動画はコチラ

**管内の病害虫情報はコチラ**

**家庭菜園情報はコチラ**